

第 33 回地方独立行政法人神戸市民病院機構

評価委員会欠席委員の意見

- ・先端医療センター病院を中央市民病院へ統合することで、中央市民病院は増床されることになる。手術室も増室したとは聞いたが、現在、高度急性期の患者を対象とした高い診療密度により、給与費や材料費などの高い費用を賄う収支構造となっており、増床により全体として、診療密度が低下すれば、収支構造の維持が難しくなるため、増収の対策が必要と考える。
- ・西神戸医療センターについては、神戸市からの移管後、家賃の負担がなくなり、減価償却費の増加分を考慮しても差額が好転すると聞いたが、中長期的には建物改修費等も増加していくことから、一時的なフローの好転だけに目を向けるのではなく、中期的な修繕・改修費用を含めたコストを考慮する必要がある。また、長期的には建替えなども考慮する必要がある。設備を抱えるうえでは、中長期的な視点に立った病院経営を行っていく必要があり、なお一層の経営改善を進めていかなければならない。